

参加メンバープロフィール①

株式会社AsMama 代表取締役社長CEO

甲田恵子
(こうだ けいこ)



■ 米国留学を経て関西外大卒。環境事業団での役員秘書兼国際協力企画、ニフティ（株）での海外渉外及び上場兼IR主担当、投資会社ngi group（株）での広報・IR室長を経て、2009年（株）AsMamaを創業し代表取締役社長に就任（現任）。2016年より（社）シェアリングエコノミー協会理事着任（現任）。メディア掲載・受賞歴多数。

■ 多企業・多団体・自治体と協働して、全国に600名以上いる認定サポーターのネットワークを活かして年間2000回弱、地域交流会を開催する傍ら顔見知り同士で子どもの送迎・託児を1時間ワンコイン（500円）で頼り合う「子育てシェア」の普及に取り組んでいる。

株式会社エクスメディオ 代表取締役

物部 真一郎
(ものべ しんいちろう)



■ 1983年京都府にて生まれる。高知大学医学部（旧高知医科大学）を卒業後、精神科医として勤務。その後、Stanford Graduate School of Business 卒業、MBA取得。臨床での経験及び米国における遠隔医療の現状から、医師のための皮膚科相談プラットフォーム「ヒフミルくん」で在学中の2014年12月にexMedioを創業。

■ 現在は相談できる診療科を拡充し、内科を中心とした診療のサポートを行っている。登録医師数は日本最大規模（※モバイル向けサービスとして）である。また、サービス上のデータを活用した医療AIの研究開発や、日本とアジアの医師をつなげるサービス開発も進めている。

参加メンバープロフィール②

GMOインターネット株式会社 代表取締役会長兼社長・ グループ代表

熊谷 正寿
(くまがい まさとし)



■ 1963年、長野県生まれ。1995年12月にインターキュー(株) (現GMOインターネット) において、インターネット事業を開始。現在、東証一部上場のGMOインターネット(株)を中心とした上場9社を含むグループ106社、パートナー5,300名超のGMOインターネットグループを率いる。

■ 日本を代表する総合インターネットグループを目指し、インターネットインフラ事業、インターネット広告・メディア事業、インターネット金融事業、モバイルエンターテインメント事業、仮想通貨事業を展開。また、2018年7月のインターネット銀行の開始に向けて、現在準備を進めている。

株式会社ジンス 代表取締役社長

田中 仁
(たなか ひとし)



■ 1963年群馬県前橋市生まれ。1988年ジェイアイエヌを設立。2001年アイウェアブランド「JINS」(ジンス)を開始。06年大証ヘラクレス(現ジャスタック)に上場。2011年には「Ernst & Youngワールド・アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2011」モナコ世界大会に日本代表として出場。13年東証一部に上場。17年4月ジンスへ社名変更。慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科 修士課程修了。

■ アイウェアブランド「JINS」を日本国内及び海外(中国、アメリカ、台湾)で展開。視力矯正のための眼鏡だけでなく、ブルーライトをカットするパソコン用眼鏡「JINS SCREEN」等で機能性アイウェアという新市場を開拓。2015年に発売した、3点式眼電位センサー(特許取得済み)を搭載し、目の動きや瞬きをセンシングする事で、心の状態を知る事ができるウェアラブルアイウェア「JINS MEME」は、集中度測定による働き方改革、眠気検知による交通事故の未然防止、医療分野での活用等、幅広い分野から注目を集めている。

参加メンバープロフィール③

株式会社ナイアンティック 代表取締役社長

村井 説人 (むらい せつと)



■ 2015年12月より現職。Niantic, Inc. 初の現地法人である株式会社ナイアンティックの代表取締役として、日本市場における事業開発ならびにリアル・ワールド・ゲームの普及に努めている。

■ 以前は、Google マップのパートナーシップ日本統括部長として、その発展に貢献。2015年にはAustralia/New Zealand Google Maps のパートナーシップ業務の責任者としても従事。Google Crisis Response活動として東北復興などのさまざまな活動にチームの中核として貢献したほか、Google Art Projectの日本の代表者として、同プロジェクトの発展に大きく貢献している。

一般社団法人 日本パラリンピアンズ協会 理事

田口 亜希 (たぐち あき)



■ 大学卒業後、客船「飛鳥」にパーサーとして勤務。25歳の時、脊髄の血管の病気を発症し、車椅子生活になる。退院後、ビームライフル（光線銃）射撃を始め、その後実弾を使用するライフル射撃に転向。アテネ、北京、ロンドンと3大会連続でパラリンピックに出場。

■ 現在は日本郵船（株）広報グループに勤務。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会アスリート委員、エンブレム選考委員、ブランドアドバイザー、マスコット審査会委員等を務める。また、一般社団法人日本パラリンピアンズ協会理事、公益財団法人笹川スポーツ財団理事を務める。

参加メンバープロフィール④

株式会社bitFlyer 代表取締役

加納 裕三 (かのう ゆうぞう)

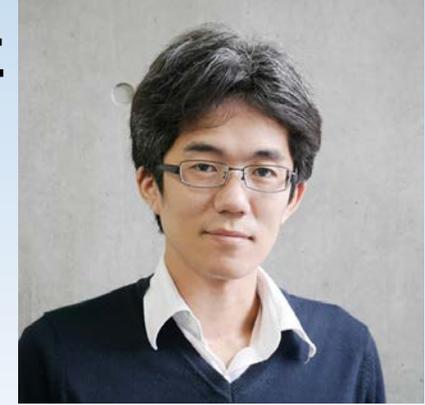


■ 1976年生まれ。2001年に東京大学大学院工学系研究科修了後、ゴールドマン・サックス証券にてエンジニアとして自社決済システムの開発、トレーダーとしてデリバティブ・転換社債トレーディングに従事。2014年に株式会社 bitFlyer を共同設立。日本ブロックチェーン協会（JBA）代表理事として、2016年の「仮想通貨法」の成立に尽力。2016年国際会議サイボスにおいて金融サービス分野の形成に貢献した金融イノベーターの1人に選出された。

■ 国内最大の仮想通貨・ブロックチェーン企業を運営。FinTechの領域において仮想通貨・ブロックチェーンの技術開発を通じたイノベーションを目指し、仮想通貨総合プラットフォーム bitFlyerの運営、およびブロックチェーンの調査・分析、プライベート・ブロックチェーン「miyabi」を活用した新サービスの研究開発（関連技術の特許は一部取得済み、一部申請中）への取組を行なっている。2017年4月には積水ハウスとのブロックチェーン技術を活用した不動産管理システムの構築を開始したことを発表し、同年9月には全銀協ブロックチェーン実証実験でパートナーベンダーに選出された。

フェアリーデバイス株式会社 代表取締役社長

藤野 真人 (ふじの まさと)



■ 1981年埼玉県生まれ。2005年東京大学農学部生物情報工学研究室卒業、2007年東京大学大学院医学系研究科医科学専攻退学。大学在学中に大学発創薬ベンチャー企業の創業メンバーとして立ち上げに参画。大学院医学系研究科に在学中に同社代表取締役に就任するが、大学院課程での実習中の経験から「人の心に寄り添うモノの温かさ」に気付き、大学院を中退し、2007年フェアリーデバイス株式会社を起業、代表取締役に就任。

■ 「使う人の心を温かくする技術開発」を理念として、音声認識関連処理・自然言語処理関連技術をコアとした音声対話システムのためのテクノロジスタック「mimi®」の研究開発とそのクラウド API サービスの運用、音声入出力ハードウェアシリーズ「Fairy I/O」を中心に、「音 x 機械学習」の分野で事業を展開している。

株式会社Preferred Networks
代表取締役社長 最高経営責任者

西川 徹
(にしかわ とおる)



■ 1982年東京生まれ。東京大学大学院在学中の2006年に岡野原等と共にPreferred Infrastructureを設立。IoTの発展に伴い、大規模かつ多種多様なデータを処理する技術として注目される深層学習への取り組みを加速させる為、2014年にPreferred Networkを設立。独自技術により、IoT時代に相応しい新たなネットワークアーキテクチャの確立を目指す。

■ デバイスが生み出す膨大なデータを、ネットワークのエッジで分散協動的に処理する「エッジヘビーコンピューティング」を提唱し、交通システム、製造業、バイオ・ヘルスケアの3つの事業領域を中心に、様々な分野でイノベーションの実現を目指している。オープンソースの深層学習フレームワークChainer（チェイナー）の開発・提供をはじめ、トヨタ自動車株式会社、ファナック株式会社、国立がん研究センターなどの世界をリードする組織と協業し、先進的な取り組みを推進している。